6月25日告示、7月4日投開票　―都議会議員選挙
暮らし、仕事、健康を守る都政に転換を

都議会開会日の行動で切実な要求をコール

日本の将来を左右する都議選
働く者の要求実現する候補者を多数に

東京都議会議員選挙が6月25日告示、7月4日投開票で実施されます。コロナ禍でむかえる最初の都議選であり、首都東京のたたかう労働組合として、1400万人都民と労働者の命と暮らし、仕事と雇用を守れる正しい候補者を一人でも多く都議会議員に選出することが求められます。

小池都政と都議会与党会派は、昨秋来専門家が警鐘を鳴らしていた「新型コロナ」感染拡大の危機に有効な対策を講じることなく感染第3、4波の防止に失敗し、都民の命を危険に晒し続けています。2度目、3度目の緊急事態宣言発令により飲食店や観光業を中心に多くの業種で深刻な経営危機に陥り、労働者も雇用不安に脅かされています。「コロナ対策」の失敗と経済危機は、今や国政と都政ともに無為無策による「人災」となっています。

東京地評が共催した「食料支援プロジェクト」でもコロナ禍で見えない貧困の広がりが浮き彫りとなり、都政が都民に果たすべき役割が今ほど重要な時はありません。

3密回避を訴える小池知事

コロナ失策の小池都政
貧困の広がりが浮き彫りに

延期を求める「東京五輪」も争点です。

今回の都議選は、衆議院選の前哨戦でもあり、都政と国政が抱える課題に対し、東京で働く労働者が要求実現の視点に立ち投票行動することが必要です。

井澤さん

五輪開催に固執
デジタル「監視」も国に同調

国立競技場近くにある五輪モニュメント

小池都政と菅政権は「政策的には一体」です。世界的に知見の確立した大規模PCR検査による隔離政策を実施せず、コロナ禍を都民の自己責任で乗り切ろうとする、庶民の安全安心な生活に関心がなく、「東京五輪」の開催に固執する姿勢まで一体です。

東京都にもデジタル・サービス局を設置し、国の「デジタル関連法」成立と歩調を合わせ都政のデジタル化と個人情報の収集・監視社会の強化も同様です。デジタル・トランスフォーメーションなど「新しい看板」の古い大企業利益誘導で悪政の上に悪政を導入する菅政治であり、惨事便乗で「関連法」を強行した菅政権の東京版です。

初動遅れで緊急事態に

コロナ禍が収拾されない東京で五輪の開催は、都民・国民の安心安全な暮らしのみならず東京発の国境を越えた大規模クラスターの発生となりかねません。そもそも小池都政は当初予定開催に固執し、五輪開催を感染予防対策の上に置き、最初の感染拡大と緊急事態宣言を招きました。1年延期決定後は、感染対策の失敗を「夜の町」「酒類を提供する飲食店」が原因であるかのように批判し、意図的に仮想敵をつくり責任を転嫁してきました。この小池都政の都民軽視の本質を支えてきた与党会派が、現時点（5月20日）でも五輪の開催を主張していることへ見きわめて、投票の判断材料とすることは重要です。

悪政の応援団でなく
対案示す健全な候補者に

都議会議事堂

小池都知事は、2期目の就任後も「住民を全うする」とは言わず、国政、都政ともに自民党と急接近し、第1会派の都民ファーストとの距離を曖昧にしています。前回「小池旋風」で圧勝した都ファは厳しい選挙戦と言われ、都議会自民党も菅政権の度重なる失政、河井前法相の選挙買収疑惑などで逆風です。4月25日の3つの国政補選の2020年の都知事選挙は、市民と野党の共闘で小池都政の転換を求め、都議会野党7会派が宇都宮けんじ氏を野党統一候補としてたたかいました。この候補立ち上げを支えた市民組織「市民と野党の共闘」の実現で都政の転換を！呼びかけ人会議（結成2019年9月）は広範な個人と団体が参加し、東京地評も都知事選挙の大会方針に基づき参加しています。

「会議」は都知事選後も活動を継続し、2021年の都議会議員選挙にむけてウェブ集会を開催（5月14日）し、都政の課題と「東京五輪」の中止・延期問題の認識を共有しました。集会には宇都宮けんじ氏や都知事選で共闘した宮﨑、共産、社民、新社会、緑の党の代表が参加し、選挙区ごとの事情は別にしても、協力・共同を確認しました。

色あせない宇都宮公約

2020年の都知事選挙で掲げた宇都宮氏の「20の都知事選挙方針」を基本に小池都政を転換する「真の市民と野党の共闘」をめざすと、確認しました。

東京地評は、「2020東京五輪」の中止・延期を求める事務局長談話を発表しました。貧困と格差の拡大を顕在化したコロナ禍を科学に基づく有効な対策で封じこめ、東京五輪を中止・延期する、2大争点を軸に投票に臨む選挙です。

2020 都知事選宇都宮公約

緊急の3課題

1. 新型コロナウイルス感染症から都民の命を守る医療体制の充実と自粛・休業要請等に対する補償の徹底
   (1) PCR検査体制充実
   (2) 病院や保健所、医療従事者に対する財政支援の強化
   (3) 病床、人工呼吸器・ECMO（人工肺装置）・マスク・防護服などの医療器具の充実
   (4) 自粛・休業などにより収入が減少した中小事業者に対する補償、仕事を失ったり収入が減少した非正規労働者、フリーランス、学生などに対する生活補償を徹底して行なう。
2. 都立・公社病院の独立行政法人化を中止するとともに、これまで以上に充実強化を図る。
3. カジノ誘致計画は中止する。

重視する8課題

1. 学校給食の完全無償化～子どもの貧困をなくす。
2. 東京都立大学の授業料を当面半額化し無償化をめざす～誰もが学べる東京を実現する。
3. 都営住宅の新規建設、家賃補助制度・公的保証人制度の導入、原発事故避難者に対する住宅支援～住まいの貧困をなくす。
4. 公契約条例の制定、非正規労働者を減らし正規労働者を増やす～働く者の貧困をなくす。
5. 災害対策（防災、減災、避難者対策など）を強化する～自然災害から都民の命と財産を守る。
6. 道路政策（外環道、特定整備路線、優先整備路線）を見直す～地域住民の意見に耳を傾ける。
7. 羽田空港新ルート低空飛行の実施に反対する～都民の命と暮らしを守る。
8. 温暖化対策（CO_2の排出削減、自然再生エネルギーの充実など）を抜本的に強化するとともに緑と都市農業を守る～地域環境、自然環境を守る。

都政と都議会議員選挙に望むこと

医療充実求められる中
病院独法化の異常

小池都政は「3つの密を避ける」など繰り返し、現実に感染拡大を招いた事実に無反省で、必然的に都独自の自粛と補償一体の支援策や雇用対策も不十分となっています。大阪では医療崩壊が現実となり、東京都も医療・保健体制の拡充は喫緊の課題です。コロナ禍、都の医療の柱である都立・公社病院の独法化により統廃合をすすめるなど異常であり、ただちに中止すべきです。世論の7割近くが中止、延期を求める「東京五輪」も争点です。

今回の都議選は、衆議院選の前哨戦でもあり、都政と国政が抱える課題に対し、東京で働く労働者が要求実現の視点に立ち投票行動することが必要です。

五輪開催に固執
デジタル「監視」も国に同調

小池都政と菅政権は「政策的には一体」です。世界的に知見の確立した大規模PCR検査による隔離政策を実施せず、コロナ禍を都民の自己責任で乗り切ろうとする、庶民の安全安心な生活に関心がなく、「東京五輪」の開催に固執する姿勢まで一体です。

東京都にもデジタル・サービス局を設置し、国の「デジタル関連法」成立と歩調を合わせ都政のデジタル化と個人情報の収集・監視社会の強化も同様です。デジタル・トランスフォーメーションなど「新しい看板」の古い大企業利益誘導で悪政の上に悪政を導入する菅政治であり、惨事便乗で「関連法」を強行した菅政権の東京版です。

初動遅れで緊急事態に

コロナ禍が収拾されない東京で五輪の開催は、都民・国民の安心安全な暮らしのみならず東京発の国境を越えた大規模クラスターの発生となりかねません。そもそも小池都政は当初予定開催に固執し、五輪開催を感染予防対策の上に置き、最初の感染拡大と緊急事態宣言を招きました。1年延期決定後は、感染対策の失敗を「夜の町」「酒類を提供する飲食店」が原因であるかのように批判し、意図的に仮想敵をつくり責任を転嫁してきました。この小池都政の都民軽視の本質を支えてきた与党会派が、現時点（5月20日）でも五輪の開催を主張していることへ見きわめて、投票の判断材料とすることは重要です。

悪政の応援団でなく
対案示す健全な候補者に

都議会議事堂

小池都知事は、2期目の就任後も「住民を全うする」とは言わず、国政、都政ともに自民党と急接近し、第1会派の都民ファーストとの距離を曖昧にしています。前回「小池旋風」で圧勝した都ファは厳しい選挙戦と言われ、都議会自民党も菅政権の度重なる失政、河井前法相の選挙買収疑惑などで逆風です。4月25日の3つの国政補選の2020年の都知事選挙は、市民と野党の共闘で小池都政の転換を求め、都議会野党7会派が宇都宮けんじ氏を野党統一候補としてたたかいました。この候補立ち上げを支えた市民組織「市民と野党の共闘」の実現で都政の転換を！呼びかけ人会議（結成2019年9月）は広範な個人と団体が参加し、東京地評も都知事選挙の大会方針に基づき参加しています。

「会議」は都知事選後も活動を継続し、2021年の都議会議員選挙にむけてウェブ集会を開催（5月14日）し、都政の課題と「東京五輪」の中止・延期問題の認識を共有しました。集会には宇都宮けんじ氏や都知事選で共闘した宮﨑、共産、社民、新社会、緑の党の代表が参加し、選挙区ごとの事情は別にしても、協力・共同を確認しました。

色あせない宇都宮公約

2020年の都知事選挙で掲げた宇都宮氏の「20の都知事選挙方針」を基本に小池都政を転換する「真の市民と野党の共闘」をめざすと、確認しました。

東京地評は、「2020東京五輪」の中止・延期を求める事務局長談話を発表しました。貧困と格差の拡大を顕在化したコロナ禍を科学に基づく有効な対策で封じこめ、東京五輪を中止・延期する、2大争点を軸に投票に臨む選挙です。

収束に力発揮する候補に
一票を投じたい

加藤さん

5月23日、けんせつプラザ東京で教宣活動者会議を開催し、参加した皆さんに「都政と都議会議員選挙に望むこと」というテーマで寄稿していただきました。

【渋谷・看板・加藤行夫 通信員】コロナ感染拡大を一日も早く収束させるため、力を発揮する候補者に一票投票したいです。オリンピックの開催、コロナ対策と2つの大きな課題を背負って行なわれる今回の都議会議員選挙は、都民の命と健康をどう守るかが最優先されるべきだと思います。

先日、高齢者のコロナワクチン接種案内が届き、早速電話コールセンターに予約を入れたのですが、何度も「ただ今電話が大変混雑しています」のコールが一日中続きました。

パソコンでようやく予約ができたのですが、7月の最後の日曜日に決定しました。こんな状態で、競技者や大会関係者の感染防止ができるのでしょうか。「安心、安全の大会」にはほど遠い現状です。

オリンピック・パラリンピックは中止し、コロナ対策に全力をあげることが大切だと思います。

次代を担う若者のため
住みやすい東京に

【村山和・建築事務・高橋久美子通信員】今、コロナ禍で世の中が動いている。オリンピックは？ワクチン注射はいつ国民に回ってくるのか？感染におびえて活動範囲は狭まり、値上げの波はボディーブローのように効いてくる。病気になったら、まるでアメリカのようたらい回しの挙句に自宅待機中に亡くなる！皆保険がある国とは思えない国になった。現実なのだろうかと耳を疑いたくなるニュースが続く。後期高齢者の保険料の値上げが決まる。消費税は福祉に使うというのを信じた年代としては本当に悔しい。信じた私たちは何だったんだろう。

高橋さん

また、選挙公約などあってないようなもの、と言ってしまえば元もこもないが、次代を担う若者のために少しでも住みやすい東京を手渡していけるように、諦めることなく都議選を注視していきたい。

民意無視の五輪強行
都民の方を見ろ

遠藤さん

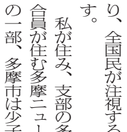
【江戸川・床内装・遠藤書世志通信員】オリンピック・パラリンピックの件で浮かび上がったように、都政と都民の意識の乖離（かい）を埋めてほしい。

民意を無視してオリ・パラを勝手に決めて、維新の会がらみで勝手に都知事を辞めた石原元知事は都民のほうを見てはいなかった。その後も都民の方は見ずに私腹を肥やして辞めた都知事が二人いた。

そして都民ファーストの小池知事は、都民ファーストではなく、オリ・パラを開催するためのファーストファーストで都民の方は見ていない。

このコロナ禍では、菅総理との責任のなすり合いで両者とも国民、都民の方は見ていない。もしかして小池さんは今回の都議選で旗色が悪くなったら国政へ返り咲くつもりなのでは、と思ってしまう。

地域の事情をよく理解し
都との協議を真摯に


高嶺さん

【多摩・稲城・電気・高嶺俊一通信員】日本の首都東京は世界の小国の年間予算をはるかに越える予算を執行し、国政に与える影響は絶対であることは事実。議員選びは都民の重大な責任と義務であり、全国民が注視する選挙です。

私が住み、支部の多くの組合員が住む多摩ニュータウンの一部、多摩市は少子化が進み、「老人の街」と言われるようになり、今後、いかに街を活性化するか、市長も苦慮している状態です。全都各地域には地域独自の様々な問題があると思います。今度の選挙も地域の事情をよく理解し、都との協議を真摯（しんし）に行なってくれる議員を都政に送り出したいと思います。

立候補者が日常的にどのような活動を行なっているか、平常から注視し、議員を見分ける「力」をつけることも大事ではないかと思います。

首都東京の議会が他の議会のお手本になるような議員を選ぶことは「人一人の有権者の大事な一票」にかかっていると思います。そのことが私たちの生活も変えていくことになると確信しています。

要求し三田線8両編成に

【板橋・大工・林賢二郎通信員】私の住む地域を走る地下鉄三田線は、今現在車両6両しかありません。娘が通勤で使っており、大変混みます。地元選出の都議には車両を増やしてほしいと頼み込み、やっと8両編成に来年からなるそうです。

土建には地域活動で様々な議員とお付き合いできる立場ですので、相互に協力できることはして、政党は自由な立場で活動できるのが、土建の良いところだと思います。このような関係をどちらから積極的に掛けていかなければいけないと痛感しています。

都議選の準備が始まり、これから忙しくなりますが、今の国のコロナ対策の遅れ、縦割り行政の弊害をなおしていただくように、関係する議員に訴えていきたいと思います。

私たちが暮らしやすい環境づくりができるように、お互いに協力していきたいです。

今の野党は批判ばかり

宮﨑さん

【世田谷・土木・宮﨑恵子通信員】前回の選挙では、都民ファーストが圧倒的な勝利でしたが、あの時の流れによる結果だったと思います。都民のために議員になりたいのか、それが感じられません。

選挙になると、当選のために公約を掲げているとしか思えません。今の野党は批判ばかりで失望です。

コロナ禍の経息がつかめないなか、仕事も失い、生活も困難な状態がいつまで続くのか、日本経済はどうなってしまうのか心配です。本当に困っている人に税金を使ってほしいです。

悲しいかな「そんな選挙に行けない」といわれるのは無理もないことだろう。

だからと言って、このままにしておいては良い方向には永久に進まない。それなりに自身も前進すべきだろう。これから投票方法も変わっていくことだろう。土建もそうだが、まず改革精神のある新しいリーダーを創り出そう。その一歩が選挙だと思う。

改革精神ある新リーダーを
その一歩が都議選

神田さん

【足立・内装・神田春之通信員】今までの選挙でまず感じたことは、投票率の低さである。その原因がどこにあるのか。その一つに低次元での議会が行なわれていると考える人が多いからであろう。この世の中の主人公は、当然「己」だが、それをどういう環境でどう生かすかだろう。どう生きるなら楽しい人生を過ごしたい。そうすれば支持政党が少しは決まることだろう。

もう一つに、巷（ちまた）では確かに嘘つきの代名詞が「政治家」といわれるゆえんだろう。

詰将棋の解答

▲3二桂成△同二玉▲2一銀不成△二玉▲2四桂△同歩▲三歩△2三玉▲3二成桂まで11手詰。